



水野 晃 議員

### Q. 学習等供用施設の管理は A. 管理は「指定管理者運営の基準」により行っている



和やかに語り合う利用者

**Q** 学習等供用施設の利用基準が不明確のため、町内の利用者から苦情が寄せられていることは当局もご存知のことと思う。

**A** 学習等供用施設の利用については「条例」「規則」この例規に基づいて制定した「指定管理者管理運営の基準」により管理運営を行っている。施設を利用しようとする者の制限として、営利を直接の目的とした利用、町外在住者を主体とした行事の利用者は、利用で

きないと規定している。利用基準を満たしていない団体等の利用については、利用の中止を行っている。

今後、窓口を利用者の範囲を提示するなどとしてより一層不適切な利用を防ぐ方策をとっていきたいと考えている。

### Q. 庁舎の窓口サービスの改善を A. 現行配置で行う

**Q** 庁舎内の窓口サービスの向上のため、窓口カウンターをローカウンターとし、職員の間をカウンター対面式に変更する考えはないか。町民が「すまません」と言わないと職員がカウンターにこない現状の解消と高齢者、子ども連れの方に座って窓口サービスを受けていたが、

多くの業務を限られた職員で分担するためには現行の配置が機能的に優れている。また、管理職は必ずカウンター方向に向け配置し、来客に対応している。窓口のローカウンターは、別に相談室もあるので十分であり、増設した場合、ローカウンター以外の窓口スペースが狭くなるので現行の配置で引き続き行っていきたい。

**A** 本町の場合は、大きな市などと比較すると来客者も少なく、

有する弁護士、会計士、大学教授などの委員で構成する。

### Q. 事業仕分けで予算の見直しを A. 有識者会議を設置して進める



筒井 俊秋 議員

**Q** 次年度の予算査定が始まる。世界不況の中、税収の不足が続くと思う。政権も変わり事業の廃止・凍結・見直しなど厳しい査定が行われている。この様な状況の中、豊山町は前年・前々年にならい予算が組まれているものが多く見受けられる。委員会・補助事業団体等に対して必要な事業であるか検討する時ではないか。町会議員の定数・議員報酬について町民の間で議論が盛

んにされている。この様に多くの課題が山積している中で、事業仕分けをするのには各種の有識者を選任し「有識者会議の設置」が望ましいと思うので検討を願う。町民は重い税金の負担と不況のダブルパンチを受けている。無駄を削って不況のときこそ思い切った減税を行う意向はないか尋ねる。

な査定を実施して経費の削減を図っている。



公共事業も見直しを

**A** 現在、予算査定

の段階であるが、歳入面では厳しい状況となっている。歳出の厳正



公共事業も見直しを